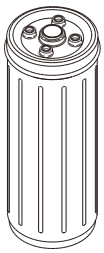
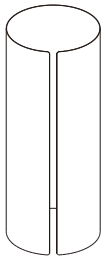
カートリッジの交換方法

【アンダーシンク型浄水器】

アンダーシンクタイプ　カートリッジの交換

セット部品

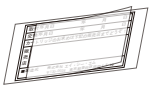

カートリッジ


保護シート

平パッキン
（2個）

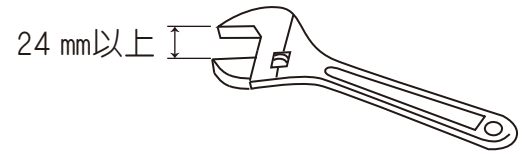
Oリング(白)
（2個）

残留塩素測定試薬

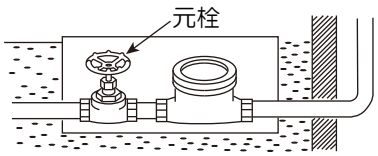

交換年月日シール

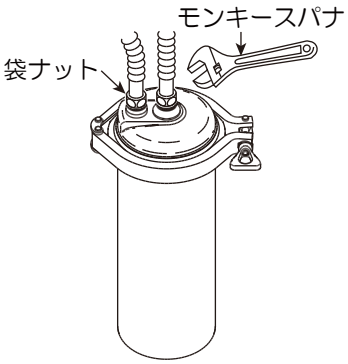
必要な工具〈ご準備ください〉

24㎜以上開くモンキースパナをご準備ください。



1．本体の取り外し



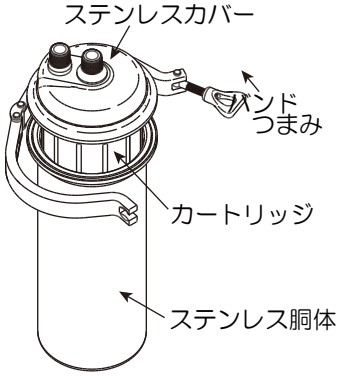


① 水道の元栓又は、止水栓等を閉めてください。
本体の出水口側に接続されている蛇口を開けたとき、水が出ないことを確認してください。

② 本体上部の出水口・給水口の袋ナットを、モンキー・スパナ等により外してください。
袋ナットをゆるめたときに、配管内の水がこぼれてくるので、タオル等で拭き取ってください。

③ カートリッジ交換を行うときに本体内の水がこぼれますので、流し台にて、交換作業を行ってください。

2．カートリッジ交換



① バンドのつまみをゆるめて外し、ステンレスカバーを外し、カートリッジを胴体から抜いてください。

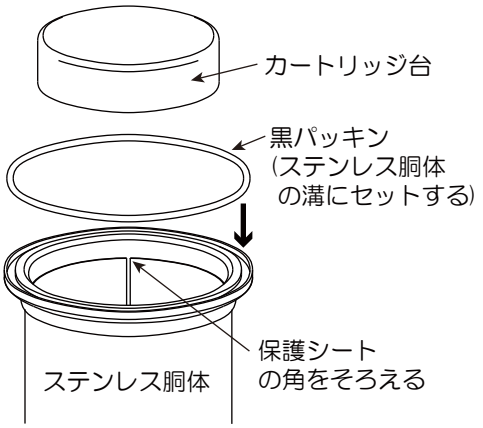
② ステンレスカバーからカートリッジを引き抜いてください。

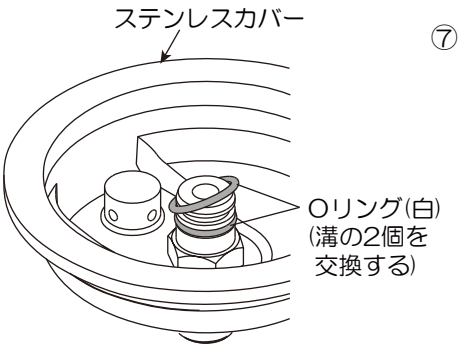
③ ステンレス胴体内に入った水は、出してください。

④ 交換用のカートリッジに同梱されている保護シートを円筒形状に丸めてステンレス本体の内側に沿うように差し込んでください。

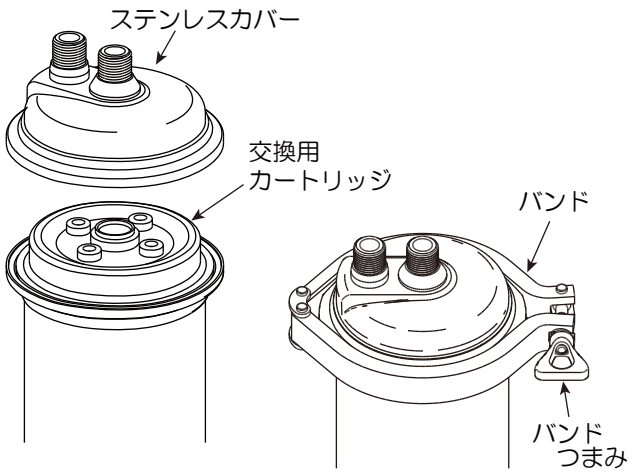
⑤ ステンレス胴体の上部の溝に黒パッキンを入れます。

⑥ カートリッジ台をステンレス胴体の底に、平面を上向きに入れます。



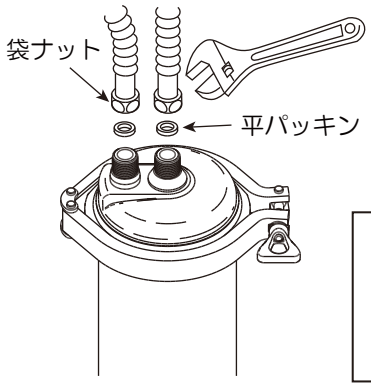


⑦ ステンレスカバーの内側中心にセットされているOリング(白)を2個交換してください。



⑧ 交換用のカートリッジをステンレス胴体に差し込みます。
⑨ ステンレスカバーを真上から押し込んでバンドをセットし、バンドのつまみを回して、しっかり締めて完了です。

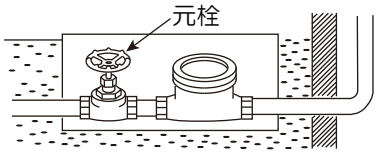
3．本体のセット



① 分木側と、本体上部外側の給水口を接続します。
平パッキンがセットされていることを確認してください。
袋ナットは、モンキー・スパナ等で締めてください。
② 専用水栓側の配管と、本体上部中央の出水口を接続します。
平パッキンがセットされていることを確認してください。
袋ナットは、モンキー・スパナ等で締めてください。

配管の接続箇所から水漏れが起きる場合には、同梱されている平パッキンと交換して、ご使用ください。
※平パッキンを二重にセットすると水漏れの原因になります。

4．止水栓をあける



① 本体に通水
専用水栓が閉まっていることを確認してから、水道の元栓・止水栓・分岐バルブを開けて、本体に通水します。
② 初通水
専用水栓を少し開けて、エアを抜き、水が出てきたら全開にし約5分間放水します。
（注）最初に黒い水が出ることがありますが、故障ではありません。

5．水漏れの点検〈確認方法〉

① 接続した部分をタオル等できれいに、ふいてください。
② 5分間の放水後、専用水栓を閉めて、本体に圧力がかかった状態にしてから、分岐配管接続部・本体接続部・専用水栓接続部の各ネジ・ナット部から水漏れをチェックしてください。
点検にはティッシュペーパーを使用すると、わずかな漏れでもチェックできます。

6．水の検査方法

浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

① コップに浄水後の水（約５０cc）を取ります。

② 残留塩素測定試薬を１袋加えます。

③ かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。

（判定は１分以内に行ってください。）

残留塩素測定試薬は、水道水中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

但し、１分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますので、ご注意ください。

(注) ●ご使用後のコップ等は、良く洗ってからお使いください。

●残留塩素測定試薬及び残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようご注意ください。

●手などに触れた場合、石鹸でよく洗ってください。

●万が一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師に相談して下さい。

●幼児の手の届かない場所に保管してください。

ご使用上の注意

（１）寒冷地の場合は、凍結の恐れのない室内に設置してください。

（２）水道圧0.5MPa以下でご使用ください。0.5MPaを越える場合、減圧弁を給水側に取り付けてください。

（３）ご使用は、水（飲料水適合）だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますので、ご注意願います。
短時間の通水であれば、問題ありません。

（４）朝、最初に使う場合は、約１分間の捨て水をしてください。
２～３日使用さえたかった場合は、約２分間位の捨て水をしてください。

（５）井戸水、垢水等で適度に汚れた水道水、並びに全量方式（水道給水の全量を浄化する方式）では、カートリッジの浄化能力が極端に短くなります。

（６）受水槽・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このようなときは、水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。

（７）金魚や熱帯魚には使用しないでください。
- 水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
- カートリッジの寿命付近でカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合は、魚が死ぬ恐れがあるため。

■製造元　**株式会社 エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL. 03-3634-7373　FAX. 03-3634-7384